

「川辺川ダム事業に関する県民の意見」

私は県営市房ダムのある村に住んでいます。ある時、市房ダムへ出かけた時に、父がダムの湖畔を指差して「あの辺りに住んでいた家が有ったとか、この辺りに、・・・が有ったとか」話しました。私はその時、初めて父が子供の頃住んでいた家が、市房ダムの水没地に有り、ダム建設に伴い現在の地区へ移転したということを知りました。多くの人がダム建設のために、移転するという大きな犠牲を払い完成したのだと実感させられました。

この様に大きな犠牲を払って完成した市房ダムですが、私は水上村・流域町村にとって現在、無くては成らないものになっていると感じています。水上村に於いてはダム周辺に植えられた桜は観光の目玉となり、村民の多くが祭に参加し、春には、多くの観光客を集めています。又、下流域に於いても増水時には水量調節し、渇水時にも安定的に水を供給してくれています。

このようなプラス要因から、市房ダム建設により移転させられた住民の犠牲は報われていると思っています。

一方で川辺川ダムを見てみますと、ダム計画に伴い、水没地の殆どの人が、苦渋の決断をし、移転してしまった後、そこにダムが出来ないという事になれば、五木村はどうなるのでしょうか？五木村では水上村と同じように、ダムの計画受入から長い期間、ダムを中心とした村作りを進めてきたと思います。現状からの村作りの方向転換は、かなり無理があり、今となっては、五木村の衰退に繋がると思います。又、苦渋の決断により、移転した住民の心情も納得いかないものと成るのではないのでしょうか？

一番の当事者で有る五木村がダムを作りたいという立場ならば、五木村住民の犠牲に報うためにもダムを作る義務が有ると私は考えます。

川辺川ダム推進の是非について

7月29日の川辺川ダム問題の討論会を傍聴して、私なりに今、考え思っていることをここに書かせていただきます。

賛成派、反対派の意見発表を聞かせていただきましたが、どちらの意見が正しく、どちらの意見が間違っているのか・・・どちらの意見も正しいことだと思います。自然を護ること、人の身体・財産を護ること。どちらも護ることのできない大切なことです。しかし、反対派の方たちの意見発表の中にたびたび出てきた「森林の保水力を高めればダムは必要ない！」この言葉にひとつの疑問を持ちました。確かに球磨・人吉の森林管理を行えば、保水力を確保することができ、それによりダムは必要なくなるかもしれません。

しかし、実際、誰が管理するのでしょうか？

私も兼業農家で昼間は会社に勤めています。農業はほとんどが日曜日行い、時期によっては会社に行く前、または会社から帰って行なうのが実情です。

それでも祖母の手を借りています。しかし、山林の管理となると祖母では無理なのです。重労働な作業の上に危険が付きまといまいます。それでいてお金になるのには30年程度かかり、それでも今は、材を出すだけ赤字になるのです。ましてや、管理を頼んだら自分たちの生活が成り立たないというのが実情です。

確かに、中には山林を管理し生計を立てている人もいるでしょうが、ほとんどの人が、私と同じように少ない面積の山林を抱えている人たちだと思われまいます。それを考えると、今の状況の中で森林の保水力を確保することは不可能なことだと思われ、確保できない状況の中で考えれば、ダム建設を行なったほうがいいのではないかと思います。

きれいな球磨川・鮎踊る球磨川！すばらしいことです。今からの子供たちに残すべきだとは思いますが、しかし、今の現状では先に述べたように困難な事だと思われまいます。

山林を持ち、実際にその中で生活している私たちだからこそ、山林の管理を行えばいいことも分っています。70%の人たちがダム反対の意見といわれましたが、そのうち何人の方が山林を管理していらっしゃるのか？

自分たちの手で、山林の管理を実際に行なっていたら上での意見なのか、疑問が残りました。

川辺川建設について

私個人の意見として、川辺川ダムは必要だと思えます。

近年、ニュース、新聞等で報道されています地球温暖化による異常気象で今後想像つかない程の、大雨、台風が予想されます。そうなった場合に現在でも

大雨時に、大変な被害に合われている。下流域住民の不安、苦勞は計り知れないと思えます。討論会で意見がててました住民の生命、財産を守る観点で考えれば、ダムに

よる、大雨時の水量調整で現在よりは、被害を大幅に軽減できると私は考えます。

次に、私は兼業農家ですが、農作物を育てる上で水は不可欠です。討論会で意見されました。ポンプによる水の汲上げ等、昔は水があった場所も、山林からの湧水が枯れてしまい、今は水田に出采ない所も多々あると聞きます。近年、米の値段も下がる一方で水に多額の費用がかかり、高齢化による維持、管理問題等さまざまな問題で今後農業後継者不足に拍車がかかるのではないのでしょうか。こうならない為にも多目的ダムによる、水田への水の供給や水力発電を行い、今後将来性ある地域振興が求められるのではないのでしょうか。

熊本県川辺川ダム総合対策課御中

川辺川ダム建設について

私は、上原田台地に耕地を持っています。
現在上原出畑総組合に属し、毎年面積に応じてファームボンドの水代として負担金を払っていますが、渇水期には必要量の水が確保されない状態です。

将来の農業・安定した安価な水を供給する為に、父の時代から40年も前から要望していた、ダム用水を熱望致します。

私の現状は、補助整備は完了し、補助整備負担金は終わりますが、農作物によっては、採算が合わないために組合員に借地しています。そのために耕地が足りず他の地区に借地をしている状態です。

又、先日は、川遊びをした子供たちが鉄砲水により亡くなられていましたが、通常はダム底部に通水される断面を確保し、異常時にある程度の通水調整ができるダムが在って良いと思います。

土木技術の進歩が著しい現在、人吉、球磨、八代の川辺川・球磨川流域の人々の生命・財産をまもる。多目的のダムを作り頂きたいと思致します。

調	の	育	懸	が	ち	護	方	保	な	床		れ	区	瞬	た	位	梅		
理	、	園	命	再	ろ	者	・	育	り	上	実	ま	・	で	雨	が	雨	私	一
室	園	に	で	開	ん	は	保	園	の	・	際	す	上	す	量	上	雨	は	川
も	舎	預	し	で	仕	、	護	も	額	床	に	。	園	。	が	昇	時	は	辺
使	内	け	た	き	事	子	者	床	で	上	、		地	私	あ	し	期	、	川
用	は	る	。	る	も	供	達	浸	あ	浸	三		区	の	る	、	に	球	ダ
不	し	こ	そ	よ	休	た	総	水	り	水	年		で	住	と	ま	な	磨	ム
可	ば	と	う	う	み	ち	出	し	ま	し	前		い	ん	た	た	ら	郡	一
能	ら	が	し	に	を	を	で	、	し	、	の		る	で	と	上	相	良	に
状	く	で	ら	と	と	知	何	復	。	田	豪		の	い	の	流	村	住	つ
態	泥	き	く	、	と	人	日	旧	私	ん	雨		度	る	水	域	に	む	い
で	水	る	泥	何	一	や	も	作	の	ぼ	で		に	位	が	に	者	て	て
し	の	よ	水	と	日	親	か	業	子	や	は		避	が	上	お	で	す	。
た	匂	う	の	か	も	戚	か	に	供	畑	相		難	出	昇	い	す	毎	年
。	い	な	消	子	早	宅	り	は	た	等	当		勧	さ	す	ま	の	。	。
	が	っ	え	供	く	に	ま	園	ち	の	の		告	。	る	と	川	。	。
	消	た	ず	た	保	預	し	の	の	通	世		が	は	の	ま	辺	。	。
	え	も	、	ち	育	け	。	先	う	う	帯		出	一	水	ま	川	。	。
	ず	の		園	園	に	保	生			で		さ	。	水	つ	の	。	。
	、					も													

蒲島熊本県知事様へ

9月にダム賛否を表明されると聞き球磨川流域に住み、また長い間、川辺川上流の五木村、五家の荘、人吉地区の住民と川辺川ダム関係の仕事を通じて感じたことを述べさせて頂きたいと思います。

川辺川ダムはあと本体工事だけを残し五木村の住民の皆さんも緒方さんを残してみな移転地へ移られました。緒方さんもダムが出来るときは移転すると言っており決して反対している訳ではないことは聞いておられると思います。

新聞などでは住民がダム建設のため4分の1に減ったと書いてありますが時代の流れであり皆そのことはわかっています。昔は山の仕事があり木を切って出せばお金になる時代でした。また天然木は大川の家具用材に搬出しその後、杉、檜を植え補助金も出ていました。海外から建築資材が輸入される前でした。

道路は狭く1車線で大型車がすれ違うためには離合所で待っていたものです。その様なでこぼこの道路をまず、相良村柳瀬より工事用道路として五木村まで2車線の道路改良工事を行いました。バスや材木運搬の車を通しながらの大変な難工事、工事費と時間を要しました。

現在舗装された道路を通ると昔の実情はとても考えられないと思います。

ダム反対の皆さんは40年前の計画で実情に合わなくなったと言いますが、山も川も木々も雨の降り方も基本的には何も変わっていません。

今回人吉地区は3年連続して集中豪雨に見舞われました。幸い大きな被害は有りませんが、何時昔のような大洪水が来るかわかりません。決して市房ダムの放流であのような過去の災害が起きたのではないことをぜひ専門家の学者の人達に科学的に判定してもらいたいと思います。当時の雨を実際に経験したものとしてダム反対の理由として市房ダムを悪者にして川辺川ダム建設を阻止しようとしている意見には賛成出来ません。

また荒瀬ダムの撤去についても今後の熊本のため、先人が残した日本の財産として是非残して活用して頂きたいと思います。

先日は、「川辺川ダム事業に関する県民の意見をお聴きする会」の人吉会場の皆様の意見を聞くことが出来ました。又、今回「県民からの皆様からの文書による意見の募集」の企画を提案して頂きましてありがとうございます。

今回は、小さな意見でも参考にして聞いていただける場を設けて頂いた事に感謝をしております。人前で意見を言える人は直接知事に意見を申し述べる場を、人前で意見を述べる事が苦手な人も、文書をもって意見を述べる場となりました。しかし、今回の皆様の意見は、蒲島知事にとっては、おそらく色々な面で参考になったと思われれます。又、分からなかった事の再発見だったと思っております。

川辺川ダム建設に関しては、人吉球磨だけではなく全国的にも感心のあるもので、非常に長い年月論争を繰り返してまいりました。今回、結論を出す時期が来ましたが非常に難しいものだと感じております。各々が自分の立場において、ダム建設の賛成・反対を論じておりますが、根本的には「人間の生命の尊さ」が大重要視されるのではないのでしょうか？

球磨川沿いに住んで生活しておられる方々は、今迄の経験上球磨川の怖さを肌で感じられておられるでしょうが、球磨川沿いに住んでおられない方々は、球磨川の怖さを理解されてなく環境面の重要性だけを主張されている様な気が致します。

自分自身が逆の立場で、球磨川沿いに住んでいれば環境面だけの主張は出来ない様な気が致します。

これまでの川辺川ダム建設の是非で長い間人吉球磨が二分化され論争されて色々な問題点が双方から提出されてきました。あまりにも自分自身の主張、ダム建設の賛成か反対かの論争に終わっている様な気がしてなりません。双方の主張の問題点は何なのか？問題点の解決策の観点からの討論は出来なかったのでしょうか？

これからは、今までに出された問題点のひとつひとつの解決が必要があると思われれます。

ダム問題をを基にして、色々出されました皆様の意見の解決こそが人吉球磨の発展につながると信じております。人吉・球磨がひとつになる事を切に希望しております。

川辺川ダム建設反対の意見

ダム建設反対の理由

- ① 地球環境が危機に瀕し、これ以上川を壊し、山から川、海 of 自然体系を壊すことは許されない
- ② ダムは超過洪水では危険。
- ③ 大地震でダムが決壊すれば被害は甚大
- ④ 流域住民はダム建設を望んでいない
- ⑤ 地方自治の本旨は、住民に決定権がある。独断は許されない
- ⑥ 利権によるダム推進の判断は、許されない
- ⑦ 基本高水や計画水量は信用できない。確率論は国が一方的に決めるものではない。
- ⑧ ダムによらない総合治水を考えるべき

F A X 送信文書

意見150

宛先 山口県
環境対策課 様

お世話になります。下記の通りFAXを送信いたしますので、よろしくお願いいたします。

依頼・回答・連絡・その他	枚数
<p>知事からの要請を判断するとのことですが、 あり、この中に、<u>山口県</u>に於ける環境問題の 環境に強い住民が、<u>山口県</u>の <u>山口県</u>のこの要請を強く知り、多くの 住民が、<u>山口県</u>を築んたいというので、 住民の要請を聞き、<u>山口県</u>に「有識者」や 「ボランティア」の言うことを優先して判断 するのであれば、<u>山口県</u>の意見は、<u>山口県</u>の中 で行われるべきではないかと、<u>山口県</u>の 市民の権利と自然環境に対する意識を 考慮されるべきではないかと、</p>	1

川上流域および球磨川上流域は急斜面の地形であり、地球温暖化により異常気象状態がかなり影響に及ぶ恐れが、洪水時には大量の洪水が下流に流出する。この為、昭和35年に球磨川上流に洪水調節の為、市房ダムが竣工した。完成時は、毎年の集中豪雨でも洪水調節効果により、下流の洪水位を下げ、ダム下流の宋上村が、人吉において堤防の決壊等の大きな被害は発生しておりません。

上記の状況をふまえて、洪水調節は下流の水位低減効果は明確ではあるが、この為、球磨川の洪水位の高まり、子供達の為に、川上ダム建設が重要視されたいと思ふ。

治水対策の必要性について

川辺川上流域および球磨川上流域は、急斜面な地形であり、地球温暖化により、異常気象状態がかなりの影響に由来を思われ、降水量も短期間で、かなりの集中豪雨で、大規模な洪水が、一気に球磨盆地に流水込んでくる特性を持っています。

平成17、18年にも、台風に伴う豪雨により、人吉地区は、危険水位を超える水位を記録し、避難指示が中心村にあり、二千五百人以上の住民が、一時避難をしなければならぬ状態でした。河川改修が進んではおりましたが、また、治水対策は、万全ではなく、毎年のように、洪水に小送られる年が続いてあります。この様な現状を考え、長期的視野のもとで、安全安心を確保する観点から、審議にいただき、切にお願い申し上げます。

私が人吉会場で発表した際、知事は私の目を見、そしてうなずき真剣に耳を傾けていただきました。感動したのと同時に自分の意見を述べて本当によかったと感謝しております。私は短い時間であった為、経験談に基づく地域の安全性にしばって意見を発表しましたが、もう一つこのダムに期待していることがあります。以前福永前市長は、「もともとダムは地域の安全のために計画された物である。しかし、今この地域が疲弊している時に、ダムの経済効果を期待してはいけないのか？」と話されたように記憶しています。そうです、「経済効果」です。経済効果をテーマとして発表すると、マスコミ、反対派、世論からそれだけが目的の如く取り上げられることが怖く、安全性のみにしました。私は諸事情があったにせよ、地元建設業で仕事をし、故郷で子供を育てる決心をしました。この町は、水没地域の方々から苦渋の選択で受け入れた時から、ダム建設に向けて動き出しました。その結果、建設業はこの地域の基幹産業になってしまったと考えています。ですからこの町には、何かしら建設業と関わっている方が多くいらっしゃると思っています。希少生物の保護に力を入れ、母なる清流球磨川による観光都市を目指すのは確かにすばらしいことだと思えます。しかし、今この地域の雇用を、観光を基幹産業として支えていけるのでしょうか。又他に雇用を支える基幹産業があればいいのですが、私には探すことが出来ません。私の考える安心して生活できる基準は、地域が安全なことと、安定した仕事があることです。どちらがかけても私が出来ることはただ一つ。故郷を離れ生活を始めることです。しかしそれを望んではいません。ダム着工の決断を切にお願いいたします。

「川辺川ダムに関する意見書」

私は、川辺川ダム建設に賛成します。

球磨川上流域および川辺側上流域は急峻な地形であり降水量も多く、台風など洪水時には大量の洪水が下流に流出することは過去の例から見ても住民地域の人々は十分認識していると思います。

仮に、ダム工事を行わなくて山間部や河川工事をして洪水調整はできないと思われます。例に球磨川上流に一房ダムが完成されてからはダム下流地域の町村部で大きな災害が発生していないのは事実であり、客観的に見ても洪水調整による下流の水位低減効果は明らかであります。

住民の人々の生活の安全、安心を確保するためにも早期着工でダム建設を行い、しっかりとした洪水調整機能を設備し防災力を高めてほしいと思います。

川辺川ダム建設に関しまして、一言知事にお願い申し上げます。ダム建設につきまして私は賛成します。前の知事が開催した住民集会にも出席していましたが、ああいう議論をするつもりはありません。ただひとつ、私が言いたいことは、近い将来日本では食料不足が深刻な問題となってくると思います。そのような事態のときにこの地方の農業力が必要となります。いざ力を発揮しようとも異常気象により大干ばつに襲われる可能性があります。その可能性は年々高まっていってると私は思います。科学的根拠は何もありません。世界では所々で起きています。

地方の農業力を生かすためにも、治水だけではない貯水するためのダムが必ず必要であると考えます。

食料不足という危機から逃れるためにもダムを建設してください。熊本県もっと広く言うとならぬ日本のためにもお願いします。

私は川辺川は必要であると考えます。
川辺川流域では増水のたびに田畑が
水没しており、私は農業の人として見るに
心にしりが難いものがあります。又人命及び
財産を守る為には是非必要と考えます。
先日は避難勧告が出た、自主避難をしているが
今後は地球温暖化の影響で局地的な集中
豪雨が洪水を予想され、今後ギリギリで助か
るかもしれないが、今後はそうはかないと思
います。その為にはダムを推進して早期に築造昭
事を望みます。

私は川辺川ダムを推進します。

人吉・球磨地域に、二水まで二十数年住んで来て、私は浸水や洪水などの大きな水害にあつたことはありません。

そのため、普通であればダムは必要ないと思ふ方もおられるが、それは、二水までと、現在の状況だけを考へているだけだと思ひます。

最近では、地球温暖化の影響で、雨量、特に局地的な集中豪雨が増えていると聞きます。短時間で急激に河川が増水し、下流の家屋や釣り客などの人命に被害(危険)を及ぼす可能性も高くなってきているのに、気長に、川底をさらえば良いと言っている場合ではないと思ひます。森林で防ぐにも限界があり、大規模な水害を食い止められるのは、やはりダムしかないのではないのでしょうか。

地球温暖化対策も、なかなか順調に進められず、ますます深刻になっていくと思われるので、いつまでも議論ばかりしているのではなく、早急に建設を決めていただきたいです。

蒲島知事 様

私は、昭和40年頃の大水害の時、アマチュア無線の一連絡員として、災害のボランティア活動に参加しました。40年を経た今でも、ダムのお陰で災害が大きくならなかったと考えています。あの時の雨量は想像をはるかに超えていましたし、特に人吉市球磨村の皆さんは市房ダムのお陰があったと思います。

ダムの問題点は、下流の安全の為に上流が犠牲になって、家屋の移転・住み慣れた土地からの移転などを強られることと思います。当初反対していた五木村民は、下流の安全の為に苦渋の決断をしました。水没地域の家屋移転は殆んどしているのですから、あとはダムが出来るのを待つだけです。

今後は、ダムを造った後をどうするかの問題点を話合えば良いのではないのでしょうか。五木が無くなるのではと心配します。環境も大事だと思いますが、他の地区からやって来て反対意見のみに終始することは如何なものでしょうか。

川辺川ダムを推進する私の考え

狭いこの球磨盆地の中に急流、球磨川と川辺川があり、治水対策が必要なのは必然だと思ひます。

「縁のダム」しか「川を掘れば」とか言う人たさがるりますが、五木村の山は表土が薄く岩盤が多く、雨が降ると下流へすぐに流出し浸水被害か〜でるのではないかと思ひます。川辺川は山南部又中流部も川幅を広げる事はできず、広げても下流部(人吉市下流)も狭い為、にダムによる流量調整が良方法だと思ひます。

今後、地球温暖化による気候の変化による洪水の増化等が思われるので、1日も早く治水対策、ダム着工による

下流地域の安全確保をお祈り致します

洪水がおきてからでは、おれすぎる
地球温暖化。で、集中豪雨で
大規模な洪水が発生する
のでは、ないか。早く対応を
うけ、安全な生活を行う。

『川辺川ダム事業に関する県民の意見』

わたしはいま、あさぎり町に住んでいます。

実家は人吉市にあり親戚も暮らしています。近ごろは人吉市でも洪水の毎に避難勧告が出るようになり心配している者です。

わたしには、新聞などで見かける計画流量とか時間降雨量とか詳しいことは分かりません。

でも、人吉のこないだの洪水の様子をみれば誰でも大丈夫だろうか、と不安になるのは当たり前でしょう。

むつかしい話はもうありません、人吉が安心して暮らせる町になるよう早くダムをつくってもらいたいと思います。